第742回 化学・物質工学セミナー

科学はみることから始まるー
カーボンナノチューブの発見



日時：令和6年7月4日（木）
13:00 ～ 14:30
場所：長崎大学文教キャンパス
文教スカイホール
講師：名城大学
飯島 澄男　終身教授

講演者は大学院生の頃から電子顕微鏡を用いたナノ構造体物質の研究を始め、今年で60年を迎えます。原子レベルでの観察自体が大きな挑戦である中、1970年からはアリゾナ州立大学に移り、主に酸化物、半導体、炭素構造体、鉱物などの結晶学的課題を高分解能電顕を駆使して解明してきました。1982年に帰国し、ERATOの「超微粒子プロジェクト」に参画、その後、NECの基礎研究所に移り、1991年に、カーボンナノチューブ（CNT）を発見されました。

「どうしてCNTを発見することができたのか？」

発見に至った講演者の研究背景や研究遍歴の紹介から、発見が必然的であったことをご講演いただききます。

講演会世話人：総合生産科学研究科　瓜田幸幾（urita@nagasaki-u.ac.jp）